

Fly high



平成26年8月27日発行
新潟県立柏崎常盤高等学校
1学年だより 第8号

2学期、スタート！

暑かった（今年はあまり暑くなかったという声もありますが……）夏も終わり、今日から2学期です。1学期の目標は「高校生活に慣れること」でした。では、2学期は……、すばり、「進路実現に向けての視野を広げること」と、「進路実現に向けての力を蓄えること」です！

では、その目標の達成のためには何が必要か？もうおわかりですね。答えは、そう、「家庭学習習慣の定着」ですよ。

もちろん、学校生活はそれだけではありません。常盤祭も目前に迫っています。勉強、部活、学校行事、すべてにエネルギーを注ぎ込んで、充実した2学期にしましょう。

はじめての全国模試

7月12日に初めての全国模試として、進研模試がありました。2学期に入り、まもなく結果が返却されるところです。

① 初めての模試受験。約48万人の中での自分の位置を確認しよう。

今回は初めての全国模試。まずは約48万人の高校1年生の中での自分の位置を把握しよう。

② 7月時点での苦手分野をチェックしよう。

入学3か月の段階で、国語・数学・英語の学力がどれくらい身についているか、また、弱点分野がどこかをチェックしよう。

③ 進路や入試を考えるきっかけにしよう。

進研模試は40万人以上が受験する全国最大規模の模擬試験。この機会に、全国での自分の学力位置を確認し、進路や入試について考えてみよう！

また、模擬試験では定期テストとは違い、「^{へんさち}偏差値」というものが登場します。偏差値は、これから先、**大学受験を考える場合、必ず知っておかなければならないものです。**

以下に偏差値の説明を記しておきますので、参考にしてみてください。

【(例) さとう先生が担任をしている、1年5組24番 なかむら君 の模擬試験結果】

	国語	数学	英語	国数英合計
得点	80点	64点	56点	200点
受験者平均点	72点	42点	70点	184点
偏差値	54	63	45	54

↑ この結果の見方（意味）は右ページに！

なかむら君：先生、模擬試験の結果が返ってきました。今回は80点の国語が一番、出来がよかったですね。（以下：生徒）

さとう先生：いやいや、良く見てごらん。国語の平均点は他の教科より高いよね。得点が良いからといって、その科目が一番出来がよいとは限らないんだ。

生徒：では、どの科目が一番出来が良かったんですか？

先生：受験者の中の自分の位置が分かる方法として、「偏差値」という数値があるよ。

生徒：??? 「偏差値」って何ですか？

先生：「偏差値」とは……

平均点を取った人を50として、受験者の中での位置を表す数値

のことだよ。細かい説明や計算式は省略するけど、平均点より高いほど偏差値は50より高く、平均点より低いほど偏差値は50より低くなるんだ。さらに、同じ種類の模試であれば、偏差値は問題の難易度に影響されない数値として模試ごとの学力UPの参考にもなるんだ。

生徒：先生、では今回の試験はどのように振り返ればよいですか？

先生：表を見てごらん。今回は国語の点数が一番高いけど、平均点も高いので偏差値は「54」だよ。数学は64点だけど、平均点が低いので偏差値が「63」もあるよ。これは、国語と比べて、数学のほうが集団の中での位置が平均点よりも高く離れていることを表しているんだ。

生徒：つまり、数学が一番良かったということですか？

先生：うん、そう考えて間違いないよ。さらに言うと、問題の配点や難易度に左右されない「偏差値」について知ると、次回の目標も立てやすくなるよ。あと、偏差値をうまく利用すれば、いずれ志望校までどのくらい実力が足りないのか、どの科目をどのくらいまで上げる必要があるのかが分かりやすくなるんだ。

生徒：得点で比べるよりも、分かりやすいんですね。じゃあ、次回は英語は偏差値50（平均）以上、国語と数学は今よりも偏差値アップを目指します！！

先生：うん、その調子！！でも、ただ「頑張ろう！」では続かないので、模試の成績表の「設問別成績」なども参考にして、どの分野を重点的に勉強したらいいのか考えながら勉強すると偏差値も上がりやすくなるよ。

生徒：はい、分かりました！ありがとうございました！！

模擬試験まとめ

- 偏差値（が表す意味）のだいたいのイメージをつかもう！
- 平均を下回っている場合…まずは50（全国平均）をめざそう！
- 国公立大学に行きたい場合…全国偏差値58をめざそう！
※ 現時点で58を超えている生徒は、さらに少しでも上げよう！

